

議会だより

第2号

2016年8月1日発行
鳥取県境港市議会



平成28年6月定例会 補正予算 — P 2

一般質問 — P 4

議決結果 — P17

境港市消防ポンプ操法大会



平成28年

6月定例会 補正予算

6月定例議会初日にあたる6月8日、全員協議会が開かれ、土地開発公社の決算に関する書類の提出についてなど、6案件の報告を受けたほか、島根原子力発電所1号機廃止措置計画等について中国電力への意見をまとめ、市長へ提出しました。

6月定例議会は、6月8日から24日までの17日間の会期で開かれ、平成28年度一般会計補正予算、特別会計補正予算など予算関連4議案、国民健康保険税条例一部改正など条例3議案、人事2議案、その他1議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。



市制施行60周年記念事業

「南極観測船しらせ」の一般公開などを行う

509万円



コミュニティ助成事業

自主防災組織の備品整備への助成

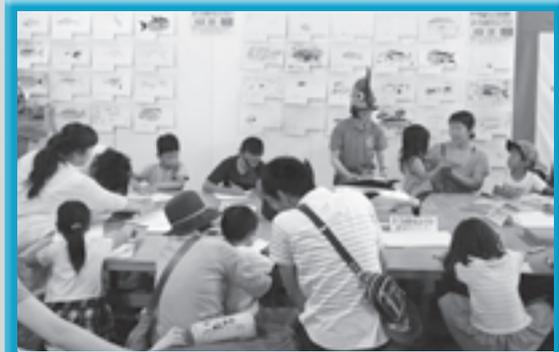
200万円



企業立地及び雇用拡大推進事業補助金

外港中野地区へ立地する企業への補助金

2,892万円



児童扶養手当支給事業

法改正による加算額などの引き上げ

494万円



ネギ黒腐菌核病緊急防除支援事業

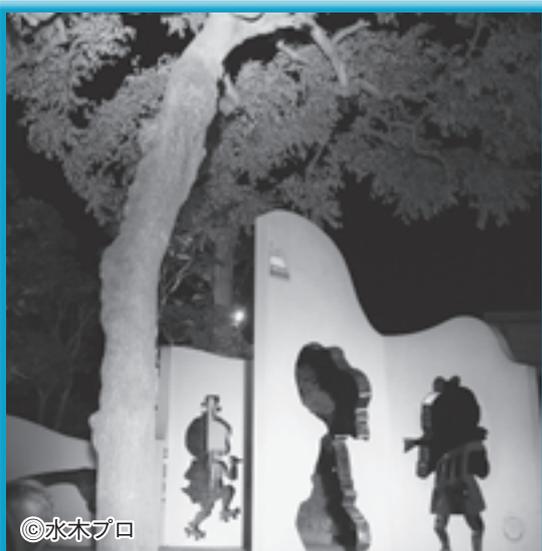
白ネギの病原菌防除にかかる費用の追加助成

329万円

がんばる農家プラン支援事業

ネギ作付拡大にともなう農業機械の導入の助成

866万円



©水木プロ

水木しげるロードリニューアル情報発信事業

9月開催予定の「怪フォーラム」前夜祭開催経費

200万円



中学生地域学習「未来塾」ICT等支援事業

地域で行う学習支援「未来塾」のICT機器購入費

241万円



市政を問う

13人が一般質問を行いました。

【一〇メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。
議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員につき最大1ページとしています。
しかし、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」では会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの場合は、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。6月定例会は、すべて各個質問です。

ページ	質問事項	質問議員
5	①荒廃農地対策について ②学校教育について	米村 一三
6	①水木しげるロードの夜の賑わいについて ②境港水族館整備について	浜田 佳尚
7	①島根原発について ②学校教育について	松本 熙
8	①本市における「防災・減災」から「復興」までの切れ目のない災害対策について ②スマートフォンアプリを活用した子育て支援について	田口 俊介
9	①地震防災対策について ②水木しげるロードリニューアル計画に寄せてのロード賑わいづくりについて	足田 法行
10	①小中学校区・施設再編について ②境港市浄化センターについて	築谷 敏雄
11	①人口減少時代に挑む本市の政策について ②美保飛行場周辺まちづくり計画について（市民会館周辺エリア）	佐名木知信
12	①子どもの貧困対策について ②人口減少下での財政運営について	定岡 敏行
13	①子ども・保護者の実態に合った就学援助制度の拡充について ②官製ワーキングプアの問題と非正規公務員のあり方について	安田 共子
14	①竹内団地の大型事業の完成にともなう課題について ②旧市街地（木造住宅密集地）の再開発について	荒井 秀行
15	①中央墓園の環境整備について ②防災対策の見直しについて	景山 憲
16	①市民バス運行について ②農商工連携での振興策について	永井 章
17	①原子力発電所の抱える課題について	平松 謙治

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

公金投入による 荒廃農地の整備を！

市長

農地再生利用事業の 活用で農地再生を計画

【米村】荒廃農地対策は当市の大きな課題である。所有者は、高齢であったり、遠隔地に居住するなど、今後も耕作の予定がないと思われる。ふるさと納税の寄付金などの公金



会派 きょうとう
米村 一三 議員

を投入して整備はできないものか。 整地された農地の所有者には、15年から20年程度の期間で市への無償供与を求め、耕作者へ有償で貸し、事業費の回収をはかっているか。

【市長】農業委員会が再生可能な農地選定の現地調査を計画している。 国の制度を活用する農地再生利用事業は市負担が4分の1あり、ふるさと納税を財源とすることは可能である。 整地後の農地については、5年間の無償貸し付けが義務付けられるが、長期にわたって、農業公社へ無償貸し付けすることは双方の合意があれば可能である。



市内に見られる 荒廃農地

下校時の見守り活動への 助成を！

教育長

制服支給状況を調査し 対応していきたい

【米村】余子地区では公民館より、下校時に「こどもたちを見守って」との放送が流れる。市内全域でこのような放送を行っているかどうか。 竹内町や高松町の人たちが、毎日児童に付き添って見守り活動をされている。 この人たちに助成策の現状は。



下校時の見守り活動

【教育長】市内全域では4校区で放送を実施している。各校区でそれぞれ特色ある見守り活動を実施されている。地域の事情もあるので、各校区にお任せしたい。

見守り活動が抑止力になり、当市では不審者事案が減少しており、感謝している。 活動されている人には防犯協議会から提供してもらい、防犯用のジャンパーなどを配布している。 学校支援ボランティアへの登録者には市民活動保険に加入してもらっている。 ユニフォームが古くなった、バラバラとすることもがあるので、調査し対応していきたい。

夜のイベントと二毛作ビジネスを！

市長

趣旨を取り入れ
昼夜楽しめる水木ロードに



会派 きょうどう
浜田 佳尚 議員

【浜田】夏は「みなと祭」があるが、秋は「墓場で運動会」、冬は「百鬼夜行ハロウィン」など、季節ごとに行える夜のイベントの実施を。

【産業部長】「墓場で運動会」については水木ロード3000万人突破記念イベントとして青年会議所とともに企画・検討中。これをきっかけに季節ごとのイベントを検討していきたい。



©水木プロ

様々な課題を抱える夜の水木ロード

【市長】リニューアルに合わせ、夜の魅力を向上させるため計画をつめている最中。質問の趣旨をよく取り入れさせてもらい昼も夜も楽しめる水木ロードを作っていく。

【浜田】境港市水族館整備について平井知事は、市の判断が前提になるという認識を示すとともに「やることになって

水族館整備 費用面で不安あり

市長

収支推計を検討中
結果を見て方向性を出す

【市長】入場料・入場者数含めて収支の推計を検討中。その結果を見て方向性を出していきたい。

【浜田】大きな事業になる。市民の意見を聞く場を設け、必ず「やることになって」する」といった発言をした。感想は。【市長】知事は、境港市の地域振興策の一環であり本市が事業主体という考え。私は、県・中海六道湖大山圏域の振興だという視点を持つべきだと考える。県には市と一体となって実現に向けて動いてもらいたい。



ミニ水族館
『とっとり賀露かっこ館』

要か否かも含めて慎重に進めてほしい。

1号機廃炉計画と事故責任の所在は

市長

原発災害時の損害賠償は原子力事業者が負う

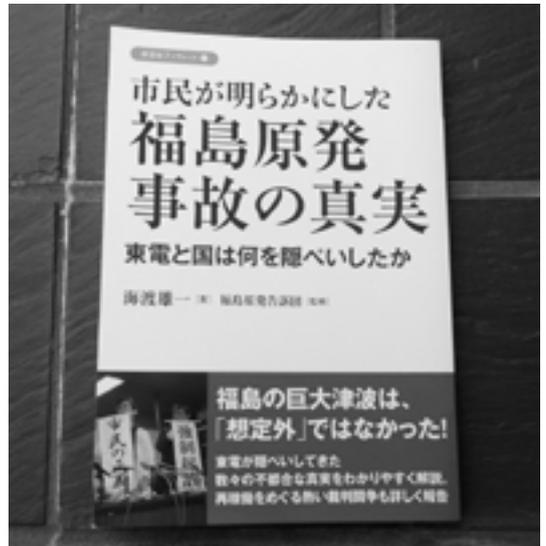
【松本】島根原発1号機の廃炉計画の説明と廃炉工程の安全性及び緊急事態などの発生時の責任の所在はごいじ。



無所属 松本 照 議員

【市長】原子力損害賠償の法律で原発災害時の損害は天災地変、社会的動乱による場合を除き、原子力事業者が損害賠償の責任を負う。
【松本】2号機の新規制基準の審査状況と、2号機再稼働の動きの中で、知事が仮処分を申し立て、差し止め可能との認識を示した。市長の所見は。
【市長】2号機の審査会は、地震の影響

調査を含め76回開催。知事は、『再稼働自体、安全協定の対象ではないが、中電が再稼働を強行すれば安全協定をもとに、差し止めの仮処分申請ができる』と発言したところがっている。
【松本】原発に頼らない自然豊かで魅力的な「グリーン鳥取」を目指すべきだ。
【市長】松本議員の提言として受け止める。



「市民が明らかにした福島原発事故の真実」掲載

小学校7校区の児童数の平準化を

教育長

校区審議会の^{しもん}諮問を受けた上で検討したい

【松本】現在の小中学校の通学区域規則は約10年前に制定。その間の夕日ヶ丘1・2丁目の児童・生徒数の変動は大きい。まず小学校7校区の児童数を平準化する通学区域改正が必要と考える。
【教育長】本年度、校区審議会で将来の児童生徒数の減少に対応した小中学校編

成の方向と、そこに照らした誠道小のあり方を諮問した。通学区域の平準化は審議会で審議してもらった上、検討したい。
【松本】小さな学校の強みを生かし、実績を上げている学校もあり、誠道小はまだまだ使用可能だ。

【教育長】これについては、校区審議会ですっかり議論をしてみよう。
【松本】もちろん将来的に統廃合があるとしても在校生や住民が納得し、校区審議会が市域全体として校区がどうあるべきか検討をお願いしたい。



小さな学校の強みを活かす誠道小学校

復興に備えた 相談体制の整備を

防災監

市も機会をとらえて
情報提供や勉強をしたい



公明党
田口 俊介 議員

〔田口〕平成25年12月に施行された国土強靱化基本法で、県または市は国土強靱化地域計画を定めることができる」と明記

されている。本市における計画について、いづごろを目的に策定をされるのか。

〔市長〕県が3月に策定した計画について先日概要説明があった。今後、県の計画内容の検証を行い、本市の計画策定について検討したい。

〔田口〕発災後のリーガルニーズについて職員も市民も事前に知っておくことは大

変重要である。本市でも事前復興の面から、今から備えておくべき法的な問題などについての相談体制を地域防災計画に位置づけておく必要があると考えるが、所見は。

〔防災監〕被災後の生活再建に向け情報提供や相談体制について考えておくことも重要と考えている。市も機会をとらえ、情報提供や勉強をしていきたい。



自治体や弁護士会の復興の手引き

アプリを活用し 子育て支援推進を

市長

先進地の事例などを
調査・研究したい

〔田口〕平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことともない、利用者支援事業の実施が自治体に求められたことがきっかけとなり、各自治体が独自の支援事業を検討・展開するようになった。

そのような中、東京都世田谷区では子育て世代に広く普及しているスマートフォンを活用した支

援事業を行っており、平成26年10月から「せたがや子育て応援アプリ」を公開し、妊娠期から小学校就学前の子育て家庭を対象に支援情報を提供している。今年度より境港市版ネウボラも本格的に始まることから、アプリの開発を検討・推進し、本市における

子育て支援事業をさらに前進させてはどうか。

〔市長〕本年度より境港市版ネウボラとして子育て支援包括センターを開設し、具体的な支援を行っている。アプリについては先進地の事例などを調査・研究していきたい。



せたがや子育て応援アプリの画面

大規模地震災害の福祉避難所対応は



公明党
足田 法行 議員

市長

福祉避難所の確保を進める



福祉避難所協定を結ぶ事業所

【足田】熊本地震のような大規模災害の場合、本市の今の福祉避難所での対応可能か。
【市長】要支援者のための福祉避難所の確保に向け、協定締結の協議を進める。要配慮者は公民館の和室で対応、不足時は宿泊施設などに要請することになっている。

ホームページなど防災情報の改善を

市長

分かりやすく整理し直す

【足田】福祉避難所マニュアルについての対応は。
【市長】鳥取県が今後の事業で検討していく。
【足田】本市ホームページ・パンフレット・携帯などの分かりやすい防災情報の改善は。
【市長】ホームページは分かりやすく整理し直す。パンフレットは、津波防災ハザードマップなど、市で作成した資料は市ホームページに掲載しているが、その他のパンフレットも、可能なものはホームページから閲覧できるようにしていく。携帯電話の対応は今後検討する。



©水木プロ

インバウンド消費に沸く水木ロード

水木ロードでの若者活用の創出を

市長

若者活用について相談してみたい

【足田】水木しげるロードの責任者として全国から若者を募集、ロード地域おこし協力を募るなど若者が活躍する場の創出は。
【市長】若者活用についてロード振興会と相談してみたい。

小中学校 施設再編について

教育長

校区審議会の答申を踏まえ 検討をする



会派 港みらい
築谷 敏雄 議員

【築谷】小中学校の再編について具体的なプランの策定、校区の再編や他地域の校区割りのあり方を問う。

【教育長】第1回校区審議会では将来の児童生徒数の減少に対応した小中学校編成の方向と学校編成にたらしめた誠道小のあり方について諮問している。9月中に答申をもらえればと考えている。具体的プランなどについては審議会の答申を踏まえ教育委員会で検討する。

【築谷】公共施設の縮充を踏まえ、小中学校のプールのあり方を問う。



市内中学校と市内小学校プール

【教育長】校区審議会の答申を踏まえ、1校に1つを基本に将来に向けた計画を立てていく必要があるが、先進地の情報収集や研究も進める。

【築谷】市民プールの活用について所見は。

【市長】可能であれば縮充をしていく視点も大切であり、公共施設等総合管理計画においてもしっかりと考えたい。

浄化センターの 合理化計画について

市長

合特法をもとに 合理化事業計画を策定する

【築谷】浄化センター廃止にともなう全体の合理化計画についての考えは。

【市長】下水道普及にとめない、し尿くみ取り業者の収集量が激減し、著しい影響を受けることから下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理等の合理化に関する特別措置法」にもと

づいて業務の安定がはかられるよう代替え業務を確保する。平成28年度末でセンターの運転を終了する。これにとめない職員2名は他部署へ配置換え、嘱託職員は雇用継続希望者に対し極力配置換えで対応する。合理化事業計画は、平成28年度中に策定する予定である。内容は今後

も必要な代替業務と
して市が直営で行っている可燃ごみやペットボトル、トレイの収集業務の一部などを平成29年度から提供したいと考えている。現在し尿収集許可業者、市職員労働組合と事前協議をしている既存のゴミ収集委託業者にも情報を提供する。策定後に計画を公表する。



境港市浄化センター

水産学の拠点へ向け大学機関誘致を



会派 港みらい
佐名木 知信 議員

市長 大学などに出向き、可能性など調査したい



近畿大学水産学部大島実験場

【佐名木】地方創生に向け、「育てる」「創る」「呼び込む」施策は大変重要である。今後、水産業の持続的発展や新たな産業創出による雇用確保につながる施策として、近畿大学・東海大学など水産・海洋学に力を入れている教育・研究機関への誘致活動を積極的に取り組んでどうか。

【市長】水産業を支える人材育成・確保は重要な事と認識している。今後、大学などに出向き、可能性など調査したい。

境港版奨学金制度創設で定住促進を

市長 境港版奨学金制度について研究したい

【佐名木】境港版奨学金制度を他市に先駆け創設し、若者の流出に歯止めをかけ、定住促進につなげるべき。財源は「ふるさと納税」や「企業ファンド」をあてるなどの工夫をし、本市が地方創生のモデル地区となるよう呼びかけてはどうか。

【市長】県では全国初となる制度を創設。国でも給付型奨学金の創設に向けて検討中とのこと、これらの動向を見守りながら、境港版奨学金制度について研究したい。

市民会館周辺エリアの今後について

市長 美保飛行場周辺まちづくり計画に沿って行う



境港市民会館

【佐名木】ホール・図書館・防災拠点などの機能を含む複合施設の、ランニング

コストと、その根拠は。

【市長】基本計画の中で、効率的な管理運営と、維持管理費の縮減などの基本方針を定めている。それを踏まえた上で、具体的なコストを算出し、改めて示したい。

【佐名木】市民の声を傾聴し対話を重ね、市民の幸せにつながるものを、市民とともに創り上げるという意識が必要である。

実態を調査し 子どもの貧困対策を

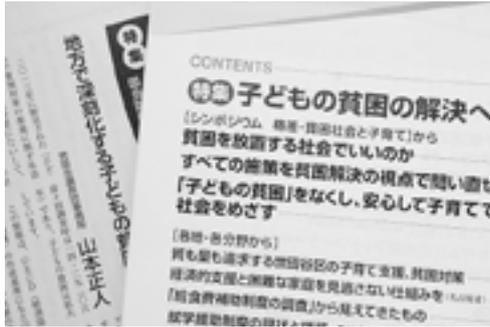
市長

市内の貧困が強まっている 状況にはない



日本共産党境港市議団
定岡 敏行 議員

【定岡】先進国で1番の高学費、最低の奨学金制度、大学は出ても非正規労働、低賃金、返せない借



「議会と自治体平成28年6月号」掲載

金。「ダブルワーク」、「トリプルワーク」と身を粉にして働かなければ食えない若者も増えている。6人に1人の子どもが貧困世帯といわれ、世代を超えた貧困の連鎖も問題となっている。市内の子どもの貧困の実態を調査し、必要な対策と計画をたて総合的に推進する必要があると考えるが、所見は。

【市長】就学援助や児童扶養手当の受給者数などの指標からみれば、市内の貧困が強まっている状況にはなく、わずかながらの改善傾向にある。

【定岡】現代の貧困は見えにくいと言われるが、学校の先生、スクールソーシャルワーカー、民生児童委員、行政の連携で相当なことが見えてくるのではないかと。【市長】実態調査、計画の策定までは考えていないが、さらに現状の把握には努めたい。

大型投資で 将来にツケを残すな

市長

有利な財源確保で 対応できる

【定岡】20年後には2万7千人、3人に1人が高齢者だ。将来世代にツケを残してはならない。市民の暮らし再建や超高齢社会に対応する街づくり、迫られる防災・減災対策、老朽化する公共施設の更新など、長期的視野にたった財政運営が必要だ。

『美保飛行場周辺まちづくり』や水族館構想など、借金返済とその後維持管

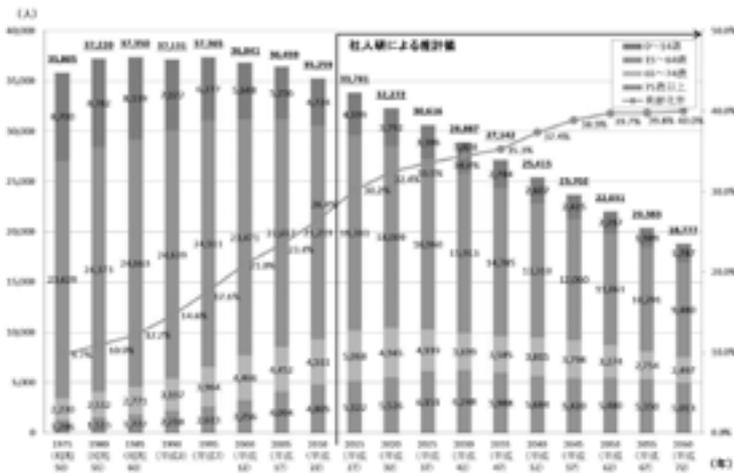
理費が市財政と市民生活を圧迫することにならないか。

【市長】有利な財源確保とこれまでの行財政改革による市債残高の大幅縮減や基金の増高で、対応できるものと考えている。

【定岡】防衛省補助で有利だからと、あれもこれもになって

いないか。竜ヶ山周辺の体育館や駐車場など、災害支援の拠点にというが、不便はあってもがんばれるのが災害支援だ。そこまでの整備が必要か。

【市長】竜ヶ山周辺の体育館建設については、私の中ではまだ白紙だ。



市の人口予測グラフ（市の人口ビジョンより）

実態に見合った 就学援助へ拡充を

教育長

入学用品費の早期支給 周知方法を研究



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

【安田】就学援助の
新入学用品費支給額
(2万円台)は実態
に見合っているか。
中学校では実際6万
円以上かかる。

【教育長】国の基準
に沿った支給額で、
すべて購入すること
は難しい。
【安田】生活保護の
入学準備金4万円台
を目標に。子育て支
援策として入学支度
金の対象や額の充実
など、実態をよく把
握し、そのうえで検
討してもらいたい。
新入学用品費支給
時期(5月末)はど
うか。3月支給を始
めた自治体もある。
【教育長】入学され
る3月には手元に届



義務教育にも費用がかさむ入学用品

くようにしたいが、
事務手続き上困難な
点がある。県外でも
早く支給しているこ
ろがある。研究し
てみたい。
【安田】就学援助の
周知についてホーム
ページ・案内文書の
内容や配布方法に工
夫を。
【教育長】他市のホー
ムページについて勉
強し、周知すべき情
報をきちんと周知
し、申し込みしやす
い形にしたい。

【安田】公務職場で
の非常勤職員の増加
で貧困層が拡大して
いる。本市職員の約
6割が非常勤。嘱託
職員が正職員の代替
になっていないか。
報酬が業務に見合っ
ているか。
【市長】嘱託職員は、
窓口業務や定型的な
業務の一部などに従
事。重要な業務は正
職員が担い、業務内
容や職責が異なる。

非常勤職員の処遇改善を

総務部長

資格などに応じて定め 変化も把握して対処

資格などの有無に応
じて報酬の額を定め
ている。
【安田】子育て支援
や貧困対策の新規事
業も嘱託職員の採用
で始めているが。
【総務部長】どの事
業も中心となる正職
員をフォローする人
材を嘱託職員で対応
している。



公務職場にも広がる非正規雇用

【安田】日常的に夜
や休日の対応がある
公民館職員、危険を
伴う業務を行う清掃
センターの環境整備
員などは、処遇改善
が早急に必要では。
【総務部長】業務の
変化による処遇改善
は各担当課から予算
編成などによって上
がる。把握して対処
していきたい。

発展する竹内団地 今後の課題は？

市長

クルーズ船の観光客対応や 物流の基盤整備

【市長】国・県や周辺自治体とともに米子・境港間の高規格道路設置については、今年度より検討会でストック効果などを通して課題を整理する。また、竹内南貨客船ターミナル完成にともない、江島架橋に通じる道路のバイパスや余子駅北側踏切の立体交差などについては、県では道路ネットワーク円滑化事業で交通量、車の流れなどを調査し必要性につ

て検証する。立体交差になると歩行者や自転車の人に負担を掛ける事となる。地元の人々の意見を聞いてみたい。

【荒井】地元の不便ばかり言っておれないので、勉強会を開き意見集約をする。

【市長】この件は、県政要望にも上げているし、ターミナル完成後の物流・人流が増えることが考えられるので、市も広く地元の意見集約をし、対応したい。

【荒井】竹内団地の大型事業が平成32年度ほぼ完成するが、物流の整備についてうかがう。



会派 港みらい
荒井 秀行 議員



余子駅付近踏切

木造住宅密集地の 再開発に対策は？

市長

危険空き家、狭あい道路 対策に取り組む



木造住宅密集地域

【荒井】市内の一部には、狭あい道路に面し、古い木造住宅密集地域がある。災害などが起きた時は、大きな被害が起きると思う。どのような対策を考えているかがうかがう。また、区画整理事業で対応できないか。

【市長】現在特定危険空き家37棟の内19棟は解体し、現在も

持ち主と交渉中。また、狭あい道路の対策として、5つの路線について自治会より問い合わせがあり、現在2件について、協議している。区画整理は、地価の下落と、住民の負担が大きく、困難である。

【荒井】2つの物件は何か。

【建設部長】渡町8

区100m、三軒屋町60mであり、この制度は、生活道路で、その沿道の人の3分の2以上の賛同を得た区間で、土地を出し合い、拡幅する。補償は、100万円以内で行う。

【荒井】是非、現在展開している事例を広め、狭あい道路の解消に努めてほしい。

中央墓園の トイレの改修が必要

市長

継続して利用者の
意見を聴いて検討したい



会派 きょうどう
景山 憲 議員

【景山】中央墓園の
トイレは、水も流れ
ない古い設備であり
改修の必要があると
考えるが、見解は。

【市長】中央墓園の
トイレについては清
掃センター隣接地に
建替えることを念頭
に検討してきたが、
現在の利用実績や近
隣の文化ホールの外
トイレが利用可能と
の判断もあり、費用
対効果も考え、当面
は改修は行わず、文
化ホール外トイレま
で案内板を設置し誘
導する考えである。

【景山】市民が、お
墓まいりの際に利用
されるトイレについ
ての費用対効果は、
どのような資料をも
とに判断されたの
か。トイレの改修に
かかる経費は、費用
対効果という視点に
なじまないと考え
る。

【建設部長】特に資
料はないが、年1回
程度の汲み取りで判
断した。

【市長】中央墓園を
訪れる利用者の意見
を継続的に聴いて、
それをもとに検討し
たい。



中央墓園のトイレ

住宅の耐震化率の推進を

市長

耐震化率について
新たな目標を定める

現状についての認識
と、耐震化率の目標
を定めて推進すべき
と考えるが、見解は。

【市長】住宅の耐震
診断については、自
己負担を無くし、無
料としているが近年
は年3件程度の申込
みである。熊本地震
の影響による防災意
識の高まりを踏まえ
て、住宅耐震の必要
性や補助制度の普
及、啓発に努める。
耐震化の目標につい
ては、「耐震改修促
進計画」を改定する
予定としており、そ
の中に新たな目標を
設定することとして
いる。



鳥取県西部地震の被災家屋

買い物難民支援に市民バスの活用を



会派 港みらい
永井 章 議員

市長 買い物支援は日常生活支援事業の中で検討

【永井】買い物難民といったような人が全国で60歳以上700万人と推定されている。本市では、買い物や、病院に行くのにバス停まで歩けない人、高齢者の日常生活に困難な人が増えるのは確実。公共機関である、はまる一ぶバスの路線変更や、バス停の箇所、運行時間などについて検討できないか。

【市長】日常生活が困難な高齢者の交通手段としての運行は、現在の利用者にとって路線の延長、バス停の増設などにより乗車時間が長くなり不便が予想される。また、1日9便を確保するには追加の車両購入などコストが大幅に生じる。現在介護タクシーの移動支援や、ホームヘルパーによる買い物支援が行われている。地域住民による日常生活の支援については「介護予防日常生活支援事業」の中で検討しているところであり、行政のみならず社会全体で、地域高齢者を支える体制を整えていくことが大切である。



はまる一ぶバスの停留所

伯州綿事業の今後の課題と方向性は

市長 外部アドバイザーや関係者と検討を行う

【永井】伯州綿「育てる、作る、売る」について今後の課題や方向性は。

【市長】栽培面では、荒廃農地対策、市民栽培サポーターの拡充、赤ちゃんおくるみをプレゼントした親子での種まきと収穫、渡小学校と地元団体との共同栽培など伯州綿に対する関心が深まっている。

商品面では、地域おこし協力隊が米子南高校と共同開発した手ぬぐい、鳥取大学を中心とした産官学金地域連携プロジェクトによる保温・保護用寝衣、県内民間事業者開発のタオル・バッグなど広がりが出てきている。販路については、市内3店舗に加えネ

ット販売、米子高島屋などに拡充している。また、伯州綿事業の課題である、安定した収穫量の確保、栽培の人材確保、綿の在庫問題など、課題の解決策や今後の事業展開について、アドバイザー、関係者とともに検討し、今後の方向性を出していく。



伯州綿栽培地

課題山積！ 島根原発1号の廃炉は？

市長

廃炉申請は「了」 最終的判断は「留保」

【平松】低レベル放射線廃棄物処分にかかる法整備。使用済み核燃料の処分地・方法。多くの課題がある中、島根原発1号機の廃炉に向けた手続きがスタートした。市長の所見は。



【市長】3者とも、廃炉申請については、「了」とする。最終的な是非の判断については、原子力規制委員会の審査結果と中国電力からの報告を受けるまで「留保」する。

【平松】前日に行われた鳥取県と米子市と本市で構成されている原子力安全対策プロジェクトチーム会議での1号機廃炉に向けた議論の内容は。

【平松】国の進める原子力発電政策自体については、廃炉や使用済み核燃料の処分など安全性とともに採算性にも疑問が感じられる。原発に隣接する市長として市民の意見を聴き、今後適切な判断を望む。

【平松】国の進める原子力発電政策自体については、廃炉や使用済み核燃料の処分など安全性とともに採算性にも疑問が感じられる。原発に隣接する市長として市民の意見を聴き、今後適切な判断を望む。



建設中の島根原子力発電所1号機
写真提供：中国電力(株)

平成28年6月定例会 議決結果

◆人 事

案 件	議決結果
固定資産評価審査委員会委員の選任について	推薦に同意（全会一致）
固定資産評価員の選任について	同 意（全会一致）

◆議 案

案 件	議決結果
専決処分の承認を求めることについて	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
境港市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等についての市費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）

◆陳 情

案 件	議決結果
陳情書	不採択（全会一致）
「3歳未満の乳幼児に安定ヨウ素剤を速やかに配布する体制の早期実現」を国に求める意見書提出について	採択 意見書提出（全会一致）
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情	採択 意見書提出（全会一致）
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採択 意見書提出（全会一致）
保育現場に無資格者を配置しないよう求める陳情	不採択（賛成多数）

◆委員会提出議案

案 件	議決結果
3歳未満の乳幼児に安定ヨウ素剤を速やかに配布する体制の早期実現を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
教職員定数改善と2017年度政府予算における義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）

このほか、報告案件が11件ありました。



ご協力ありがとうございました！

議会だよりの再刊にともない、議会だよりの愛称を募集したところ、市外も含めて313件の応募がありました。

多数の人にご応募いただき誠にありがとうございました。

若い人たちの意見も聞かせていただきたいという編集部の思いから、市内3中学校に応募箱を設置させていただいたところ、学校独自にポスターを作成したり、生徒の皆さんに紹介していただいたりと、多大なるご協力をいただきました。お礼申し上げます。

採用する愛称につきましては、議会だより編集部で審査決定します。採用された愛称は、後日デザインを施し、平成28年11月発行の議会だよりから使用する予定です。



中学校で作成されたポスター

お知らせ

今年の市民と議会の懇談会では例年の日程とは別に、当日出席できなかった人など全市民を対象に8月7日の日曜日に開催いたしますので、多くの方のお越しをお待ちしております。

あしがき

議会だよりが5月に再刊され、多くの市民のみなさんに読んでいただけたと思います。

この議会だよりは、子どもからお年寄りまで誰にとっても読みやすいものを中心に、心がけ、編集しております。文字数の制限、紙面の都合で割愛や要約などの制約がありますが、議員一人一人の思いを伝えられるような紙面づくりをしてまいります。

(築合)

【発行責任者】

議長 岡空 研二

【議会だより編集部】

部会長 浜田 佳尚

築谷 敏雄

足田 法行

安田 共子